



# 進路だより

令和6年2月29日発行  
第3号

都立城東特別支援学校長  
佐藤 亜紀子

今回の「進路だより」は、キャリア教育に関する学校全体での取組と各学年の取組についてです。



## <キャリア教育の推進>

橋本由美

キャリア教育とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」のことです。そして、キャリア発達とは、「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程」です。

働くことを意識した挨拶やビジネスマナーなどのワークキャリアについては、以前から係活動や仕事体験などを実施してきました。今年度は、仕事をしながらより豊かに生活していくためには、趣味などのライフキャリアも並行して学習していくことが大切であることを、進路講演会の講師であった山内先生から教えていただきました。ライフキャリアとはどんなことなのか、系統的な指導方法について、進路支援部で検討を進め、キャリア教育計画表を作成しました。

今回の進路だよりでは、その計画に沿った活動の一部として、小1の相撲体験の他、各学年の活動について紹介します。

## <高等部への進学に向けて> (中学部3年)

中学部3年・仲澤菜弓

3学期になると中学部3年生の高等部進学へ向けた動きは、より活発になります。1月は高等部への願書提出、2月は入学相談、入学予定者発表、そして入学手続きへと続きます。中学部3年生の保護者の皆様は、次々に迫る準備や手続きに、慌ただしい日々を送られていることと思います。進路に関する様々な御協力、ありがとうございました。

中学部3年生は、2月6日に進学を希望する高等部で面接や運動検査等に参加し、入学相談を終えました。「とても緊張したけど、練習どおり名前を言えました。」と喜ぶ生徒や、「(テストが) 難しかったけど、頑張りました。」と話す生徒もありましたが、自分の出せる力を存分に出し切ることができました。2月22日午後には、入学許可予定者発表を終え、それぞれが新しい環境に進むことを理解し、期待や不安を抱えながら過ごしている様子が伺えます。今まで城東特別支援学校で学んできたことを力に変えて、勇気をもって新しい一歩を踏み出してくれることを願っています。

## <4月からは中学生> (小学部6年)

小学部6年・阿南翔

「中学部の授業を体験する機会を通して、中学部の授業や活動内容の雰囲気を感じ、関心をもてるようにする」というねらいのもと、昨年12月に小学部6年生が中学部の作業学習(陶芸班、オフィスサービス班)を体験しました。陶芸班では、中学部の生徒と同じ教室で、粘土伸ばしや粘土たたき、型抜きなどの活動を行いました。オフィスサービス班では、シュレッダーの活動に参加しました。中学部の先輩と一緒に「できました。」「新しい紙をください。」などの報告もすることができました。中学部の教員や先輩に挨拶をしたり、それぞれの班を実際に体験・見学してみたりすることで、中学部の授業を知り、新しい活動への期待感を高めることができました。



## ＜相撲体験＞（小学部 1 年）

小学部 1 年・松井まなみ

相撲体験（すもうあそび）は、子ども達にとっては、楽しい遊びの活動です。学校教育で、「相撲」を取り上げるのは、日本文化を学ぶことができますが、「先生と一緒に活動する」「順番、ルール、マナー、約束事を守ろうとする」「たくさん身体を動かして遊ぶ」「自分の役割を分かる」「挨拶できる」を培うキャリア教育の一環ともなっています。

実際にお相撲さんになってお相撲人形を倒したり、行司の役になってみたり、力士が行っている四股の動画を見ながら一緒に行ってみたり、取組の動画を見て相撲の迫力を知ったりと、あまり相撲に馴染みのなかった児童も、楽しみながら活動に取り組むことができました。



## ＜就業体験＞（中学部 2 年）

中学部 2 年・箕輪彰夫

中学部 2 年生は、11月9日に、社会福祉法人のびのび福祉会「のびのび共同作業所大地」（生活介護事業）で就業体験を行いました。施設長からは、工賃の話など将来の具体的な話を聞くことができました。給食についての質問もあり、生徒は興味をもって話を聞くことができました。その後は2グループがそれぞれの作業部屋に分かれて、利用者の方達と一緒に、作業体験に参加しました。作業の内容としては、ペットボトルキャップ拭き、割りばし封入、ボールペン封入、レターセット封入等があり、自分に割り振られた仕事を体験してきました。作業完了時の報告等を行い、働くのにふさわしい態度で体験することができ、将来の進路や仕事について考える良い機会になりました。



## ＜就業体験・造園体験＞（中学部 1 年）

中学部 1 年・橋本由美

中学部 1 年は、11月30日に、社会福祉法人 江東楓の会 江東区あすなろ作業所（就労継続支援 B 型）で就業体験を行いました。作業所では、施設内や働いている方々の様子を間近で見て、将来働く場所がどんな場所なのか、知ることができました。施設の見学後は、Tシャツを畳みラッピングする作業や割りばし入れの作業を体験しました。職員の方々や先輩方から一つ一つ分かりやすく教えていただき、緊張しつつも丁寧に作業を頑張りました。休憩時間になると、働いている方々が、「こんにちは。どこから来たの?」と声を掛けてくれて、生徒たちも、「城東特別支援学校から来ました。」などと応じる場面があり、作業所の方々と交流することもできました。生徒たちにとって、将来への見通しをもつ良い機会となったと思います。

また、1月12日には、造園体験を行いました。近隣にある天龍造園建設株式会社の方の御指導のもと、チューリップの球根を堅川公園に植えました。新型コロナウイルス感染症の影響で、校外への学習や地域の方との交流の経験が少なく、落ち着いて参加できるか不安でしたが、生徒たちは、天龍造園の方たちと一緒に落ち着いて楽しく作業することができました。



就業体験の様子

造園体験の様子